

2012年度 社会福祉法人うるてるホーム事業報告 概要

理事長 滝田 浩之

1. 法人本部

はじめに

2012年度も2009年11月に策定した中・長期計画に基づいた事業を進めて参りました。特にうるてるホームの移転、改築計画は順調に進み、2012年9月2日に建築業者の入札が行われ、株式会社フジタに決まりました。同年9月18日に工事請負契約を交わし、同年10月26日には起工式を行うことができました。工程表よると2013年8月には完成し、各種の建築検査の後、9月中にはうるてるホームに引き渡される予定です。引き渡し後、備品の搬入、内覧会の開催、業務シミュレーションを行い10月の開所となります。2013年10月14日（月・祝）には地域の方々、教会の方々を招き、竣工式を開催します。これまでの皆さまのお働きとお祈りを心から感謝を申し上げます。

(1) 2012年度の法人の取り組み

2012年度事業計画に沿って以下に報告いたします。

法人は「建築事業の計画的実施」「中・長期展望による人材育成」「中・長期的な財務計画の策定と組織運営」を重点課題として運営にあたってきました。

①建替え事業の計画的実施については、補助金協議終了後、設計事務所と最終的な見積もり図面を作成し、一般競争入札を行いました。入札に応諾して下さった企業は、受付順で前田建設、東洋建設、大本組、鴻池組、フジタ、熊谷組、竹中工務店の7社でした。予定価格を14億7000万円（税別）とし、で株式会社フジタが14億3200万円（税別）で落札しました。

起工式は理事である永吉秀人牧師の司式・説教によって開催され、その後本格的に着工。近隣の電波障害の対応についても、適切な業者と契約し、現在まで大きなクレームなく工事は進捗しています。

建築委員会においては、入札図面を作成後は移設後の一体運営に課題を移して、備品の調整、引越しの段取り、施設一体運用と職員配置など多岐にわたって検討を続けています。

なお、今回の建て替えを記念するものとしてステンド・グラスの設置を2012年11月の理事会にて決定しています。原画は日本福音ルーテル教会引退教師である小嶋三義牧師に、ステンド・グラスについては日本福音ルーテル松本教会の会員であり、日本におけるステンド・グラスの権威である山崎種之氏に依頼し、すでに完成しています。

最後に、建築計画と平行してすすめて参りました現有地売却についても、年度末には具体的な業者と交渉をはじめ、行政の指導のもとに次年度早々に契約が可能となりました。

②中・長期展望による人材育成につきましては、管理者研修、主任研修、新人研修を実施しました。キリスト教講座も取り入れながら、特に各階層別に必要なスキルの習得、特に視点の切り替えを求めて実施しました。8月にはリスク・マネジメント研修を行い、地域包括の立場から困難な状況にある方々への支援についてケースを共有しました。事務局としては、ルーテル法人会連合のリソースを生かして、人事考課の導入と、それに伴う就業規則、給与規定の改定に取り組みました。これについては、3月の理事会にて承認して頂き、次年度より実施します。また広義に捉えれば、委員会活動は人材育成を行っていく上で、実践を伴う最良の場であると認識しておりますが、建築委員会、危機管理委員会、保健衛生委員会、地域交流委員会は、それぞれに事業所を横断する課題について、議論を行い、結論を出し、これを実施し、見直しを行うというサイクルを実施することで、法人内の問題解決に大きな貢献をしてくれました。今後もメンバーを入れ替えながら継続していきます。

③中・長期的な財務計画の策定と組織運営につきましては、特に組織運営について移転後の組織改編に取り組みました。これまで4年間は事業所毎に管理者を置き、管理責任者連絡会から管理者会議へと合計10名で組織運営をしてきました。少なくとも役割についての理解と組織的な業務遂行の基礎は根付いてきたと評価できます。しかし、事業目的の浸透や職員の統率に関しては課題も残っています。また法人内事業を俯瞰する戦略、戦術の構築も、これからますます重要な項

目となることから組織活性化に向けて事業部制を引き、次年度へ向けて組織改編を検討して参りました。

- ④ 2012年度の財務状況ですが、事業収入（寄付金を除く）が前年度比▲19,200千円（前年度比約▲3%）減収。事業活動収支差額比率は3.3%（前年度6.5%）とほぼ現業での収入減がそのまま収益率に影響を及ぼしています。今後の消費税の増税、間接経費の増大、介護報酬の見直しなどを鑑みると早急に経営体制の立て直しが必要であると認識しています。

（2）理事会・評議員会

- ① 2012年度に行われました、理事会・評議員会は以下のとおりです。

| | | | | |
|-------|--------|--------|---------|-----------|
| 2012年 | 5月31日 | 第1回理事会 | 第1回評議員会 | 於：るうてるホーム |
| 2012年 | 6月1日 | 第2回理事会 | | 於：大阪教会 |
| 2012年 | 7月15日 | 第3回理事会 | | 於：大阪教会 |
| 2012年 | 8月9日 | 第4回理事会 | | 於：大阪教会 |
| 2012年 | 9月10日 | 第5回理事会 | | 於：大阪教会 |
| 2012年 | 11月22日 | 第6回理事会 | | 於：大阪教会 |
| 2013年 | 3月28日 | 第7回理事会 | 第2回評議員会 | 於：るうてるホーム |

- ② 監事監査は、2013年3月28日（事業）、5月20日（運営）に行われました。

（3）2012年度事業概要（2013年3月31日現在）

- ① 実施事業数：16事業（うち四條畷市委託事業3）

（老人福祉法・介護保険法）

軽費老人ホームA型、広域型特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、
通所介護事業（B型、D型）、訪問介護事業、訪問看護事業、居宅介護支援事業、
地域包括支援センター

（障害者自立支援法）

居宅介護等支援事業、生活介護（基準該当）、日中一時支援事業、短期入所事業

（市委託事業）

配食サービス事業、シーツ包布貸与事業、外出支援移送サービス事業、

- ② 総事業費 558百万円（11年度591百万円）

- ③ 職員数 113名（うち非正規59名）

2. チャプレン報告

（1）運営概要

法人理念の浸透のために、新人研修会で1回、全体研修会で2回、「キリスト教講座」を開講いたしました。今期は事業計画に掲げている、コリントの信徒への手紙1、13章の聖書の言葉をベースに学びを行いました。また新人研修では、ヘンリー・ナウエンの『死と介護についての黙想』を手がかりに、お話しをしました。2012年5月28日の創立記念礼拝には初代総合施設長である泉亮先生をお招きして、証言を頂きました。これについて法人報に紹介した通りです。

法人ニュース（letter one）は3回発行し、理事長の立場ではありますが、イースターや、クリスマスの意味について触れることでキリスト教の理解を深める一助になればと期待しています。

また、工事の進捗を報告する法人報についても2回発行することができました。ステンド・グラスのテーマである「洗足のキリスト」について共有しました。

3. 軽費老人ホームるうてるホーム

（1）運営概要

2012年度は新たな取り組みに向けて、大きく前進した年であったことを評価したいと思います。同時に各委員会の活動を通じて一体化に向けて努力したことも前進した要因となりました。

特に建築委員会の活動が各事業所に向けて取り組むべき課題を発信し、計画的に移転の準備が行なわれてきました。入居者やご家族への説明会や面談等実施し、お一人おひとりの経済的、身体的なご

心配についてご家族からのご意見等お聞きし解決に向けての取り組みを致しました。

また、身体的な不安を持っておられる方についての対応としては、医療面に関することを重視し、看護師を中心として地域の薬局や病院などとの連携に取り組みました。中でも薬局との連携については入居者の服薬管理が整備されてきたこと、ケアハウスに向けての医療体制の中で大きな課題となっていたことが進展したことは今年度の大きな成果ともいえます。また、訪問歯科のサービスを取り入れたことも入居者の方々にとって大変喜ばれました。年々、医療や介護面での依存度も高くなり、介護保険のサービス利用者も増えてきたことにより、今後も法人内各事業との情報交換や連携がさらに重要となってまいりました。

今年度は入居者の減少に対して新入居者の獲得が思うように進まず、年度末までに空き室を残した状況となりました。次年度は新しいケアハウスへの入居者獲得と、移転計画が安全に実施できるように全職員の力を結集して取り組みます。

(2) 事業実績

①利用状況

| | 2012 年度 | 2011 年度 | 差異 |
|-----------|----------------|----------------|---------------|
| のべ利用者数 | 15,349 名 | 14,982 名 | 367 名 |
| 入院日数 (人数) | 1,206 日 (19 名) | 1,819 日 (21 名) | ▲515 日 (41 名) |
| 短期入所利用者日数 | 593 日 (11 名) | 440 日 (12 名) | 11 日 (10 名) |
| 稼働率 (対実員) | 88.0% | 87.1% | 0.9% |

②入居者の現状 (2013 年 3 月 31 日現在)

| 年齢 | 60～69 歳 | 70～79 歳 | 80～89 歳 | 90～99 歳 | 100 歳以上 | 計 |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|----|
| 男 | 2 | 3 | 1 | 1 | 0 | 7 |
| 女 | 0 | 6 | 12 | 17 | 1 | 36 |

最高齢：男性 94 歳 2 ヶ月、女性 107 歳 11 ヶ月平均年齢男性 78 歳、女性 88.7 歳全体 86.9 歳

| 利用年数 | 1 年未満 | 1～3 年 | 3～5 年 | 5～10 年 | 10～15 年 | 15～20 年 | 20 年以上 | 計 |
|------|-------|-------|-------|--------|---------|---------|--------|----|
| 男 | 0 | 0 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 7 |
| 女 | 6 | 5 | 5 | 7 | 4 | 3 | 6 | 36 |

最長：男性 11 年 2 ヶ月、女性 34 年 5 ヶ月

| 介護度 | 支援 1 | 支援 2 | 介護 1 | 介護 2 | 介護 3 | 介護 4 | 介護 5 | 計 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|----|
| 2012 年度 | 2 | 5 | 8 | 11 | 2 | 0 | 0 | 28 |
| 2011 年度 | 2 | 5 | 9 | 8 | 4 | 3 | 1 | 32 |

4. 特別養護老人ホームるうてるホーム

(1) 運営概要

2012 年度は移転に向け、具体的な食事や入浴などのシミュレーションを通じて課題を共有し、議論を重ねてきました。平行してユニットケアについてイメージを膨らませるため、各種研修への参加、他施設の見学、実地研修などを通じて情報収集に努めました。

運営面においては、1 月半ばから 2 月初旬にかけて感染性胃腸炎が集団発生しました。有症者は入居者・職員合わせて 25 名にのぼり、うち 11 名がノロウイルス感染と確定しました。感染者と非感染者を分けての個別対応を行わなければならない上に、出勤できる職員も限られてしまいましたが、職員一人一人の懸命な働きと法人内各事業所の職員派遣により、何とか業務を組み立て収束させることができました。

また、労働環境改善の一環として介護職の残業時間 10% 減を計画しましたが、結果として前年に比べ倍増となりました。職員配置が当初の予定どおり進まなかったことや業務の見直しなどの取り組みが様々な状況により進まなかったことが主な要因と考えています。

(2) 事業実績

①利用実績

| | 目標 | 2012年度 | 2011年度 | 目標との差異 |
|--------|---------|---------|---------|--------|
| のべ利用者数 | 17,155人 | 16,618人 | 16,538人 | ▲537人 |
| 稼働率 | 94.0% | 90.9% | 90.4% | ▲3.1% |
| 平均介護度 | — | 4.0 | 3.9 | — |

②入居者の現況（2013年3月31日現在）

| 年齢 | 60～69歳 | 70～79歳 | 80～89歳 | 90～99歳 | 100歳以上 | 計 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 男 | 1 | 3 | 3 | 0 | 0 | 7 |
| 女 | 2 | 5 | 13 | 20 | 3 | 43 |

最高齢：男 87歳 女 101歳 平均年齢：男 78歳 女 88.8歳

| 利用年数 | ～1年 | 1～4年 | 5～9年 | 10～14年 | 15～19年 | 20年～ | 計 |
|------|-----|------|------|--------|--------|------|----|
| 男 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 女 | 6 | 24 | 7 | 3 | 3 | 0 | 43 |

平均在所期間：4.5年

③新規入居者介護度（入居時点）

| 介護度 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|---|
| 人数 | 2 | 4 | 2 | 8 |

5. るうてるホーム短期入所生活介護事業所

（1）運営概要

短期入所においては急な入院や体調不良等によるキャンセルがあることから、広報なども含め運営面での工夫が求められています。定期的ではありませんが、2012年度は、特養・軽費入居者を含め入院者の動静について情報収集を行い、短期入所の利用調整に役立てました。

また、新規利用については、介護疲れや体調不良、軽費入居者の体調不良などを利用背景に、32件（内9件はるうてるの居宅介護支援事業所）、のべ163日の新規利用がありました。前年度比で件数30%減、利用日数40%減となりました。緊急利用については、介護者の体調不良、虐待などを背景に毎月ほぼ1件以上相談があり、新規でも積極的に調整しました。

利用ニーズには可能な限り対応していますが、リスクマネジメントや利用調整面での課題から医療必要度の高い方や所在確認を要する方などの受け入れが困難な場合も出てきています。この点については今後も検証していきますが、2012年度の成果としては、リスクの高い方に利用していただく場合、夜勤3名体制やオンコール体制を取り、事故防止に努めるようにしました。夜勤のフォロー体制を整えたことにより、各職はより安心して働くことができるようになっています。

（2）事業実績

①利用実績

| | 目標 | 2012年度 | 2011年度 | 目標との差異 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| のべ利用者数 | 3,507人 | 3,069人 | 3,523人 | ▲438人 |
| 稼働率 | 120.0% | 104.8% | 120.3% | ▲15.2% |

②利用者の現況（2013年3月31日現在）

| 年齢 | 60～69歳 | 70～79歳 | 80～89歳 | 90～99歳 | 100歳以上 | 計 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 男 | 2 | 11 | 5 | 3 | 0 | 21 |
| 女 | 3 | 1 | 21 | 22 | 02 | 58 |

最高齢：男 94.2歳 女 103.8歳、平均年齢：男 78.3歳 女 87歳

6. るうてるホームサービスセンター通所介護事業所／障害者デイサービスセンターるうてる

（1）運営概要

2012年度は、新規プロジェクトとして利用者開拓・居宅支援事業所の営業プロジェクトを立ち上げました。第一の取り組みでは、お客様、ケアマネジャーとの直接的な対話の中でニーズを聞き取り、意見に対して回答するというを行いました。二つ目は、お客様の状況報告などを行うことで

ケアマネジャーとの顔を合わせる機会を増やし、担当職員の顔を覚えてもらうように取り組みました。

プロジェクトM（満足のM）の取り組みは、新職員の介護の疑問や悩みの声に基づき毎月一回テーマを決めて勉強会を開き、サービス改善やお客様の満足度向上に繋がるような様々な情報を共有し、安心できるケアの提供を心がけてきました。

KKP（開発・改善プロジェクト）の取り組みは、DVDを用いて映画や音楽番組を鑑賞することや折り紙やパズルなどテーブルで行えるプログラムを提供してきました。また、昨年度より好評の手工芸プログラムの充実を図り、参加者全員が家族へのプレゼントを作成し、持って帰っていただく楽しさを提供してきました。

実績については、介護保険は昨年同様入院・入所や死去などによる休止が多く、目標を達成するに至りませんでした。反面障害者デイについては、新規利用を3名獲得でき、実績が若干伸びました。

(2) 事業実績

| | 目標 | 2012年度 | 2011年度 | 目標との差異 |
|------------|--------|--------|--------|---------|
| (高齢)延べ利用者数 | 9,390人 | 7,775人 | 8,548人 | ▲1,615人 |
| 1日平均利用者数 | 30人 | 25.0人 | 27.2人 | ▲5.0人 |
| 稼働率(40名定員) | 87.5% | 71.6% | 76.6% | ▲15.9% |
| (障害)延べ利用者数 | 1,570人 | 1,128人 | 1,077人 | ▲442人 |
| 1日平均利用者数 | 5人 | 3.6人 | 3.4人 | ▲1.4人 |

①介護保険サービスは、新規利用24名、利用再開25名に対し利用休止者は54名でした。

7. 四條畷市委託事業

(1) 運営概要

配食サービス、リネンサービス共に、年々減少傾向です。配食サービスについては、新規利用が数件ありましたが、一時的に利用されたのちに終了しています。リネンサービスは、新規利用者がありませんでした。外出支援移送サービスは、今年も実施することなく終わっています。

(2) 事業実績

①配食サービス

| | 2012年度 | 2011年度 | 差異 |
|------|--------|--------|------|
| 利用者数 | 133人 | 143人 | ▲10人 |
| 配食数 | 1780食 | 1852食 | ▲72食 |

②リネンサービス

| | 2012年度 | 2011年度 | 差異 |
|------|--------|--------|-------|
| 対象者数 | 63人 | 93人 | ▲30人 |
| のべ枚数 | 899枚 | 1121枚 | ▲222枚 |

③外出支援移送サービス

| | 2012年度 | 2011年度 | 差異 |
|--------|--------|--------|----|
| 利用実人員 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 延べ利用者数 | 0人 | 0人 | 0人 |

8. デイサービスセンターるうてる通所介護事業所

(1) 運営概要

2012年度は移転の前年度ということもあり、移転に際して様々なニーズや疑問、不安等を明確にする事を課題としました。結果として満足度調査アンケートや移転聞き取り調査から、お客様の思いを知り、新デイサービスでの礎を築く事が出来ました。また、満足度を念頭に置いた「その人らしい、お客様の気持ちに寄り添ったサービス提供」を継続して行うこともできました。

研修や会議においては、職員が日常業務の改善や見直しにおいて積極的に意見し、いい効果が得られています。特に書類整理においては、通所介護計画やモニタリングで職員の思いを反映させることができました。

(2) 事業実績

| | 目標 | 2012 年度 | 2011 年度 | 目標との差異 |
|----------|---------|---------|---------|--------|
| 営業日数 | 260 日 | 258 日 | 260 日 | ▲2 日 |
| 利用実績 | 2,264 名 | 2,215 名 | 2,217 名 | ▲2 名 |
| 稼働率（対定員） | 87.0% | 85.8% | 85.2% | 0.5% |
| 一日平均利用者数 | 8.7 名 | 8.58 名 | 8.52 名 | 0.06 名 |

9. 四條畷第1地域包括支援センター

(1) 運営概要

9月より、包括的支援事業の充実を図るために非常勤職員1名（常勤換算1）の社会福祉士を増員しました。2012年度より社会福祉士相談援助実習の学生の受け入れを開始したと合わせ、実習プログラムを作成して後進指導の体系的な取り組みを始めました。多様化・複雑化した相談に対応できる専門性をもつため、今後の現任研修として各職員の習熟度に合わせて継続的に取り組んで行くことが来年度以降の課題です。

担当地区では、4地区の自治会、地区福祉委員会、民生委員の方々との協働で各種教室を開催しました。昨年度からの2地区に加えて新たな2地区での教室開催を再開できたことが大きな成果であると考えています。地域との関係を構築するためにも、開催できていないあと2地区への働きかけを行う必要があります。

また、11月より家族介護教室を月1回開催しています。終末期の生活の場が病院や施設から在宅へ移行する社会情勢の中、介護者家族からの「他の家族がどのように介護しているのかのを知りたい」との声が出発点となりました。非常に好評を得ていますので今後も継続して必要な知識やピアカウンセリングの機会としていきます。

(2) 事業実績

①包括的支援事業

ア. 総合相談支援事業

| 相談実績 | 2012 年度 | 電話 | F A X | 来所 | 訪問 | その他 | 計 |
|------|---------|-----|-------|----|-----|-----|-----|
| | 実人数 | 189 | 0 | 64 | 80 | 17 | 350 |
| | 延件数 | 261 | 0 | 85 | 113 | 17 | 475 |
| | 夜間緊急 | 0 | 0 | 1 | 4 | 0 | 5 |
| 相談実績 | 2011 年度 | 電話 | F A X | 来所 | 訪問 | その他 | 計 |
| | 実人数 | 201 | 1 | 66 | 103 | 29 | 400 |
| | 延件数 | 332 | 1 | 84 | 151 | 32 | 600 |
| | 夜間緊急 | 0 | 0 | 0 | 8 | 0 | 8 |

イ. 介護予防ケアマネジメント業務

| | 2012 年度 | 2011 年度 |
|-----------------|---------|---------|
| 二次予防高齢者ケアプラン作成数 | 0 件 | 4 件 |

ウ. 権利擁護事業 ()は実人数

| | 2012 年度 | 2011 年度 |
|-------------|------------|------------|
| 権利擁護に関する相談 | 19 件(16 人) | 10 件(8 人) |
| 高齢者虐待に関する相談 | 19 件(12 人) | 18 件(10 人) |

エ. 包括的継続的マネジメント業務 ()は延べ人数

| | 2012 年度 | 2011 年度 |
|-----------------|------------|------------|
| 介護支援専門員支援に関する相談 | 71 件(56 人) | 57 件(43 人) |

②指定介護予防支援に係る事業

| | 2012 年度 | 2011 年度 | 差異 |
|--------------|---------|---------|------|
| 要支援者ケアプラン作成数 | 1,272 件 | 1,205 件 | 67 件 |
| うち委託件数 | 1,106 件 | 1,019 件 | 87 件 |

| | | | |
|------------|-------|-------|-------|
| うち自事業所作成件数 | 166 件 | 186 件 | ▲20 件 |
|------------|-------|-------|-------|

③介護予防事業

ア. 介護予防普及啓発事業 介護予防教室・介護予防に関する講演会 ()は参加人数

| | 2012 年度 | 2011 年度 |
|------|------------|------------|
| 開催回数 | 3 回 (54 人) | 3 回 (47 人) |

イ. 地域介護予防活動支援事業 ()は参加人数

| | 2012 年度 | 2011 年度 |
|----------------------|--------------|----------------|
| 運動サポーター養成講座 | 1 回 (14 人) | 0 回 (0 人) |
| 運動サポーターフォロー講座 | 1 回 (25 人) | 1 回 (35 人) |
| 運動サポーター連絡会議 | 3 回 (22 人) | 4 回 (40 人) |
| カラコロ体操 | 66 回 (987 人) | 72 回 (1,224 人) |
| その他の事業 (ボランティア活動支援等) | 0 回 (0 人) | 0 回 (0 人) |

ウ. 二次予防事業対象者に関する実態把握

| | 2012 年度 | 2011 年度 |
|-------------------|---------|---------|
| 基本チェックリスト未回収者戸別訪問 | 82 人 | 10 人 |

④その他の事業

ア. 家族介護支援事業 ()はのべ参加者数

| | 2012 年度 | 2011 年度 |
|--------|------------|-------------|
| 家族介護教室 | 3 回 (54 人) | 3 回 (115 人) |

イ. 認知症高齢者見守り事業 ()はのべ参加者数

| | 2012 年度 | 2011 年度 |
|---------------|-------------|------------|
| 認知症に関する教室・講演会 | 2 回 (135 人) | 2 回 (72 人) |

10. るうてるホームサービスセンター居宅介護支援事業所

(1) 運営概要

2012年度は、事業計画に基づき相談機能の充実を図りました。営業時間外の電話を介護支援専門員に転送し、24時間体制の電話相談受付を行いました。さらに介護支援専門員の専門性向上のために、週1回ケース検討会議を開催し、居宅介護支援専門員相互の研鑽や情報交換を図ってきました。

また、居宅介護支援だけでなく社会貢献事業・コミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)としての役割も担い、高齢者の介護相談に加えて経済的困窮や難病の方の受診の支援などに対し、年間で4件の支援を行いました。これらの支援を通して、深刻化・複雑化している様々な生活相談への対応力を向上させる必要性も実感することができました。

法令遵守については、今年度も継続して取り組みを進めてきました。業務水準の維持と徹底を図るため、事業所内ガイドラインの完成に向けて業所内で議論を深めています。

(2) 事業実績

| | 目標 | 2012 年度 | 2011 年度 | 目標との差異 |
|---------------|---------|---------|---------|--------|
| 介護ケアプラン数 | 1,800 件 | 1,570 件 | 1,526 件 | ▲44 件 |
| 介護予防ケアプラン受託数 | 360 件 | 409 件 | 313 件 | 49 件 |
| 一人あたり請求件数/月※1 | 35.1 件 | 31.4 件 | 29.8 件 | ▲3.7 件 |
| 一人あたり支援件数/月※2 | 38.2 件 | 35.1 件 | 32.6 件 | ▲3.1 件 |

※1…一人あたり請求件数 = {要介護ケアプラン数 + (介護予防ケアプラン ÷ 2)} ÷ 4.7 (常勤換算値)

※2…一人あたり支援件数 = (要介護ケアプラン数 + 介護予防ケアプラン) ÷ 4.7 (常勤換算値)

11. るうてるホームサービスセンター訪問介護事業所

(1) 運営概要

2012年度の利用者動向は、介護保険事業では、新規14名(前年度11名)、終了8名(前年

度12名)、障害福祉サービス事業は、新規2名(前年度0名)、終了1名(前年度0名)でした。今年度の終了者の内訳は、死亡5名、入所3名、転出1名です。なかでも死亡者4名は、ヘルパー訪問の数日後にお亡くなりになっておられ、驚きと共に一回一回の訪問に心をこめて対応したいと今更ながら思い起こさせていただきました。

今年度はヘルパーの稼働状況を把握した上で、既存のお客様への安定供給に加え、新規のお客様を100%受け入れる計画でしたが、想定外の退職や休職により計画通りにスタートできず、前年度よりも一層厳しいサービス提供状況となりました。そんな中、新規依頼100%受け入れに踏み切ったことは評価すべきことであり、今後に繋がるものと確信しています。

障害福祉サービスは、利用者1人当たりの訪問回数を伸ばすことで、少しずつ増収に繋がりました。人員に苦勞した1年ではありましたが、5月に2名の登録ヘルパーが加わりましたので、大切に育てていきます。

(2) 事業実績

| | 目標 | 2012年度 | 2011年度 | 目標との差異 |
|-----------------|------------------|----------------|----------------|-----------------|
| 利用者数 (うち障害者) | 1,020人 (156人) | 804人 (137人) | 846人 (125人) | ▲216人 (▲19人) |
| のべ訪問回数(介護保険) | 10,800回 | 8,128回 | 8,148回 | ▲2,672回 |
| 〃 (障害者) | 1,500回 | 1,774回 | 1,583回 | 274回 |

1.2. 訪問看護ステーションるうてる

(1) 運営概要

訪問看護の実績は年毎に延びています。2012年度の利用者数はほぼ横ばいですが、件数収入において前年度を上回り、年度目標以上を達成することができました。反面、前年度からの課題である人員確保は達成できず、退職もあったことから人手不足感が否めませんでした。このため、目標としていた専門領域外の学習や研究活動、事務の効率化、マニュアルの整備はすすんでいません。

連携においては関西医科大学をはじめ病院看護師との連携は相互交流、合同研修で深まっています。同時に地域における他職種協働の包括ケアを推進する役割を発揮していくことへ重要性を感じています。

(2) 事業実績

| | 目標 | 2012年度 | 2011年度 | 目標との差異 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| のべ利用者数 | 384人 | 407人 | 432人 | 23人 |
| 介護保険のべ件数 | 1,200件 | 1,120件 | 1,188件 | ▲80件 |
| 医療保険のべ件数 | 2,280件 | 2,827件 | 2,281件 | 547件 |

介護保険は微減、医療保険は増加となり、全体で前年比約6%増。難病・小児・を中心に医療保険の利用が今年度も多くなっています。

1.3. 栄養部

(1) 運営概要

2012年度は移転準備の一年となりました。8月に、建築委員会の下部組織として、食事プロジェクトを立ち上げ、10月より食事提供シミュレーションを開始し、特養、軽費、デイサービスにおいて実施しました。「私たちの大切にしたい食事とは？」を基本的な考え方として、食事コンセプトを「楽しみたい！こだわりたい！思いやりのるうてるごはんは幸せの素」とし、委託業者とも協調しながらすすめて参りました。今年度は、新しいイベントを立案することはできませんでしたが、その分新施設の厨房設計や設備備品見積もり等、食事に関すること全般に関わることができ、多くのことが学べました。

実績面では、本体、デイとも稼働率に影響をうけるため、食数がのびず、昨年度と比べて平均食費が上昇してしまいました。反面、デイの残食数の削減の取り組みについては前年比17%減と、よりロスの少ない食事提供を行うことができました。

デイの稼働率向上のために、利用の少ない曜日にイベント食を提供する対策も行いましたが、あまり実績は伸びませんでした。内容の検討を継続し、食べる側も作る側も楽しい食事作りを進めていきます。ソフト食については、イベント時を中心に実施してきました。見た目も含めて、まだまだ認知度や完成度を高めていく取り組みが必要であることがわかりました。

(2) 事業実績

| | 本体施設 | 郷土料理 | 手作りおやつ | デイセンター | 手作りおやつ |
|-----|----------------------------------|---------|--------------|----------------|--------------|
| 4月 | 花見弁当 | 東北地方 | よくばり抹茶プリン | 花見弁当 | ワッフル |
| 5月 | 端午の節句メニュー 創立記念メニュー | 石川県 | 五平餅 | 端午の節句メニュー | ワッフル |
| 6月 | | 岐阜県 | 若鮎 | | ワッフル |
| 7月 | 七夕メニュー 手作りおやつ(特) | 宮崎県 | 冷やし善哉パッピンス風 | 七夕メニュー 流し素麺 | きなこわらびもち黒蜜かけ |
| 8月 | 夏祭り | 沖縄県 | 生チョコブッセ | 屋台メニュー 流し素麺 | きなこわらびもち黒蜜かけ |
| 9月 | 敬老祝いメニュー | 福岡県 | どんどん焼き | 敬老祝いメニュー | きなこわらびもち黒蜜かけ |
| 10月 | | 佐賀・大分県 | かぼちゃパン | 運動会メニュー | 五平餅 |
| 11月 | 文化祭 | 山梨県 | りんごのやわらかクッキー | おにぎりバケツがきのこ御膳 | 五平餅 |
| 12月 | クリスマス祝会 もちつき | 長野県 | 善哉 | クリスマス もちつき | 五平餅 |
| 1月 | おせち料理 お餅パーティ(軽) | 新潟県 | | おせち料理 | 白玉善哉 |
| 2月 | 節分メニュー | 富山・福井県 | みそ仕込み | 節分メニュー | 白玉善哉 |
| 3月 | 雛祭りメニュー 鍋メニュー(軽) お餅パーティ(軽) | 鍋料理(4種) | 豚まん | 寄せ鍋(D) | 白玉善哉 |

1.4. 事務部

(1) 運営概要

2012年度は、新施設移転が正式に決定されたことにより、関係機関や建築工事に関わる多くの諸法人の皆様との準備、手続き、届出、契約等移転事業に関する業務が数多くありましたが、それらを一つひとつ着実に行うことができました。移転準備を大きな課題に挙げ、ハード面では不要備品や保存文書の整理を行い、業務遂行に相応しく環境整備をしました。しかし、文書保管については経年文書が散逸しており、監査時等の対応における準備に相当時間を要してしまう状態があるため、引き続きの課題にしています。

業務分担は切り分けと相互連携がよく進み、効率運営につなげることができました。従来業務に加え、部員全員が建築や法人内プロジェクト等に参画し、リーダーとしての役割も担っています。

施設設備、備品の整備は経年による老朽化が進み、どこまで我慢できるかで1年を過ぎました。移転までの残る半年も必要最小限の整備に留めたいと考えています。

労務管理と人材の適正配置により一体化の効果を上げたいと考えています。法人の持つ全ての資源を最大限活用できるような運営を行うため、総務部内での情報共有をはかり、目標設定と達成管理による資質向上により法人全体に貢献できる総務部を目指します。